

## 相撲レスラー米三合分!?

このベビーフェイスプラネットツさんは名前がカタカナで印象的なお店である他、メニューは相撲レスラーというとても大きなサイズを注文することができます。その大きさはだいたい四、五人前くらいの大きさのオムライスです。その量はなんと、ご飯三合分だそう。オムライスの他にも、カルボナーラなどのパスタもあります。このお店のカルボナーラは、他のお店の約二倍くらいの大きさです。とても一人では食べられませぬね。

## キッズエリア、

## ドッグランの誕生

松坂店にはキッズエリアがあります。キッズエリアでは、〇歳から六歳までと言う幅広い年齢の子供達が遊ぶことができます。広いスペースや、種類豊富なおもちゃがたくさんあります。また、犬と一緒にご飯を食べたいという要望があったため、新しくドッグランを設立しました。そのドッグランは、今年に完成しました。

## 店内の様子

## ←副店長の近藤さん



店内に入っすぐ大きな像がありました。また、瓦の屋根が付いている個室になっており、カーテンがかかっています。理由を聞いてみると、「個人個人のプライベートゾーンが欲しいから」などといったお客さんからの要望を取り入れてカーテンを付けたそうです。

好みの変化に合わせて味を変えているのだとか。副店長の近藤さんは、「現代の人は濃い味をよく食べているから、私たちベビーフェイスプラネットツも他のチェーン店に合わせて毎年味を変えるようにしています。」とおっしゃっていました。また、料理の量が多いため、途中でレモンなどを加えてフレッシュな味わいにするなど自分で味を変えられるようにするため、レモンを料理の上に乗せていたりします。ベビーフェイスプラネットツは、料理の大きさにもこだわっています。例えば、オムライスの大きさは、小さい順にセレブサイズ、Sサイズ、レギュラーサイズ、相撲レスラーサイズがあります。

## ベビーフェイスプラ ネットツ名前の由来

「ベビーフェイスプラネットツ」は「何でもない日がハレの日になる」というのがコンセプトのカフェレストランです。

店名のベビーフェイスとはよく「童顔」という意味で勘違いされがちなのですが、プロレスの悪役をヒール（悪玉）と呼び、その対義語、ベビーフェイス（善玉）と言うそうです。そしてこのプロレス用語を用いたものがベビーフェイスプラネットツというお店の名前となりました。また、正直な思いが惑星のように連なっていくって欲しいという、創業者の思いが由来となって「プラネット」と名付けられたと言っていました。また、料理のサイズにもなっている「相撲レスラー」サイズも、

創業者の方がプロレスが好きだったためこのような名前になりました。



→さらに誕生日だと、チエキを撮ってもらうことができ、それを飾ってもらえます！